

2012 年 6 月 30 日 筑波大学東京キャンパス文京校舎 134 講義室 16:00～16:50

地理空間学会 2012 年総会次第

開会の辞

会長あいさつ

議長の選出

書記の委嘱

議事

1. 2011 年度会務報告

2. 2011 年度決算報告・監査報告

・監査報告)

3. 2012 年度事業計画案

4. 2012 年度予算案

5. 次期役員・専門委員会の構成

6. その他

書記の解任

議長の解任

※学会賞・ベストポスター賞表彰式

地理空間学会 2012 年総会・評議員会資料

1. 2011 年度会務報告 (2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日)

- ・ 会員総数 (2012 年 6 月 27 日) 276 名 ※2011 年 6 月 16 日現在 256 名
内訳: 一般会員 199 名 院生会員 66 名 学生会員 11 名
- ・ 大会の開催
 - 第 4 回大会 (2011.6.18～19) 筑波大学筑波キャンパス, 参加者 88 名
研究発表 口頭発表 6 件, 招待発表 1 件, ポスター発表 12 件
会長講演: 白坂 蕃 (帝京大)
「イタリアのアルプス山麓における羊の移牧にみる“日常”と“非日常”」
巡検: 「常陸台地における産業と交通」 参加者 33 名
 - 第 5 回大会の開催 2012 年 6 月 30 日～7 月 1 日 筑波大学東京キャンパス文京校舎
- ・ 例会の開催
 - 第 11 回例会 (2011.10.1) JICA 研究所 国際会議場 参加者 41 名. 独立行政法人国際協力機構 (JICA) と共催.
山下亜紀郎 (筑波大): 「アジアの大都市における土地利用変化とその地域的要因」
一ノ瀬俊明 (国立環境研究所): 「アジアの大都市における複数地点の土地利用データによる都市気候変遷の解明」
白木洋平 (立正大): 「アジアの大都市における土地利用と地表面温度の関係」
遠藤崇浩 (筑波大): 「アジア大都市における地下環境と共有資源問題」
豊田知世 (JICA 研究所): 「アジア大都市における地下環境変化のステージモデル」
谷口智雅 (三重大): 「アジア大都市における都市発展および地下水利用の変化と水辺景観」
吉越昭久 (立命館大): 「アジアの大都市の都市発展モデルと水環境変化」
鈴木和哉 (JICA 地球環境部): 「アジアの大都市における環境国際協力について」
 - 第 12 回例会 (2011.12.15) 筑波大学 筑波キャンパス 参加者 63 名
山下宗利 (佐賀大): 「ジェントリフィケーションにみる都市空間の変容—トロントと東京—」
 - 第 13 回例会 (2012.1.27) 筑波大学 筑波キャンパス 参加者 53 名
仁平尊明 (北海道大): 「ブラジルの熱帯湿原におけるフィールドワーク」
- ・ 機関誌「地理空間」の刊行
 - 第 4 巻 1 号 80 頁 (2011.6.20), 第 4 巻 2 号 174 頁 (2011.12.20)
論説 3 編, 研究ノート 1 編, 調査報告 2 編, 地理資料 1 編, フォーラム 1 編, 書評 6 編,
学会記事等を掲載。
- ・ ニュースレターの発行 第 11 号 (2011.10.3), 第 12 号 (2012.2.8), 第 13 号 (2012.6.25)
- ・ ホームページ・メーリングリスト (jags-ml) の運営

・2011年度学会賞選考結果

学会賞選考委員会：矢ヶ崎典隆（委員長）、井田仁康、堤 純、村山祐司（事務局）

特別賞：小林浩二

受賞対象：

小林浩二：『西ヨーロッパの自然と農業—農業景観・農村景観を中心に—』大明堂，196p.，1986年5月。

小林浩二：『変貌する西ドイツの都市と農村—新たな地誌学的研究—』古今書院，323p.，1990年6月。

小林浩二：『都市と農業の共存』大明堂，260p.，1992年2月。

小林浩二：『激動の統合ドイツ—都市と農村の変化と課題—』古今書院，366p.，1992年12月。

小林浩二：『統合ドイツの光と影』二宮書店，210p.，1993年11月。

小林浩二編：『ドイツが変わる東欧が変わる』二宮書店，227p.，1996年4月。

小林浩二：『21世紀のドイツ—旧東ドイツの都市と農村の再生と発展—』大明堂，251p.，1998年5月。

小林浩二・佐々木博・森 和紀・加賀美雅弘・山本 充・中川聡史・呉羽正昭編『東欧革命後の中央ヨーロッパ—旧東ドイツ，ポーランド，チェコ，スロヴァキア，ハンガリーの挑戦—』二宮書店，258p.，2000年3月。

小林浩二：『中央ヨーロッパの再生と展望—東西ヨーロッパの架け橋はいま—』古今書院，258p.，2005年6月。

小林浩二・呉羽正昭編：『EU 拡大と新しいヨーロッパ』原書房，197p.，2007年10月。

小林浩二・小林月子・大関泰宏編：『激動するスロヴァキアと日本—家族・暮らし・人口—』二宮書店，175p.，2008年3月。

小林浩二：『地域研究とは何か—フィールドワークからの発想—』古今書院，128p.，2012年1月。

学術賞：岩間信之

受賞対象：

岩間信之編著『フードデザート問題—無縁社会が生む「食の砂漠」—』農林統計協会，162p.，2011年6月。

学術賞：櫻井明久

受賞対象：

櫻井明久著『社会科教師のための地理教材の作り方』古今書院，141p.，2011年3月。

学術賞：仁平尊明

受賞対象：

仁平尊明：『エネルギー効率から見た日本の農業地域』筑波大学出版会，316頁，2011年3月。

学術賞：原田洋一郎

受賞対象：

原田洋一郎著『近世日本における鉱物資源開発の展開—その地域的背景—』古今書院，300p.，2011年2月。

学術賞：山下清海

受賞対象：

山下清海著『池袋チャイナタウン—都内最大の中華街の実像に迫る—』洋泉社，191p.，2010年11月。

山下清海編著『現代のエスニック社会を探る—理論からフィールドへ—』学文社，213p.，2011年3月。

奨励賞：林 琢也

受賞対象：

林 琢也「グローバル化に対応したリンゴ生産と品種の管理—日本ピンクレディー協会を事例に—」, 『茨城地理』, 茨城地理学会, 10号, pp.93-102, 2009年8月.

Hayashi, T. 「Sustainable systems of agri-tourism in a cherry-growing area: A case study of the Miizumi area, Sagae City, Yamagata Prefecture」, 『Geographical Review of Japan Series B』, 日本地理学会, 82巻2号, pp.60-77, 2010年5月.

林 琢也・呉羽正昭「長野盆地におけるアグリ・ツーリズムの変容—アップルライン(国道18号)を事例に—」, 『地理空間』, 地理空間学会, 3巻, pp.113-136, 2010年12月.

奨励賞：吉田国光

受賞対象：

吉田国光「北海道大規模畑作地帯における社会関係からみた農地移動プロセス」, 『地理学評論』, 日本地理学会, 81巻, pp.402-421, 2009年9月.

吉田国光・市川康夫・花木宏道・栗林 賢・武田周一郎・田林 明「大都市近郊における社会関係からみた稲作農家の農地集積形態」, 『地学雑誌』, 東京地学協会, 119巻, 810-825, 2010年10月.

吉田国光「山村における棚田維持の背景—長野県中条村大西地区を事例として—」, 『人文地理』, 人文地理学会, 63巻2号, pp.37-52, 2011年4月.

吉田国光・杉野弘明「近現代における小規模経営における味噌・醤油醸造業の地域的展開—長野県須坂市を事例として—」, 『地理科学』, 地理科学学会, 66巻2号, pp.61-79, 2011年4月.

吉田国光「中山間地域における農地利用の維持基盤—熊本県天草市宮地岳町を事例に—」, 『地理空間』, 地理空間学会, 4巻, pp.97-110, 2011年12月.

2. 2011 年度決算報告・監査報告

2011 年度決算書 (案)

(2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日)

<一般会計>

単位：円		
収入の部	決算額	予算額
I 繰越金	452,208	452,208
II 会費	779,000	581,000
1. 一般会員会費	684,000	496,000
1) 今年度分会費※	536,000	
2) 過年度分会費	140,000	
3) 次年度以降分会費	8,000	
2. 院生会員会費	95,000	
1) 今年度分会費	86,000	
2) 過年度分会費	9,000	
3. 学生会員会費	2,000	
1) 今年度分会費	2,000	

Ⅲ 寄付金	0	0
1. 地理空間学会学術基金より繰り入れ	0	
Ⅳ 雑収入	530,233	320,000
1. 機関誌販売	132,233	80,000
2. ページ超過料金(2巻1号、2巻2号)	360,000	200,000
3. 大会参加費	38,000	40,000
計	1,761,441	1,423,208

※一般会員会費納入率 63% (2011 年度分)

単位：円

支出の部	決算額	予算額
Ⅰ 事業費	1,196,039	1,180,000
1. 地理空間印刷費	983,163	900,000
1) 2巻1号印刷費	454,278	
2) 2巻2号印刷費	528,885	
2. 大会運営費	112,586	180,000
3. 東日本大震災地理教育復興支援事業	100,290	100,000
Ⅱ 事務関連費	82,108	93,208
1. 通信運搬費	66,925	60,000
2. 消耗品費	14,763	20,000
3. 事務費	420	13,208
Ⅲ 予備費	0	15,000
Ⅳ 繰越金	483,294	0
計	1,761,441	1,423,208

2011 年度 特別会計決算表 (地理空間学会学術基金)

単位：円

収入の部	予算額	支出の部	予算額
前年度繰越金	452,208	2011 年度一般会計への支出金	0
寄付金	0	次年度繰越金	452,208
合計	452,208	合計	452,208

監査報告 (会計監査：平岡昭利・櫻井明久)

3. 2012 年度事業計画案 (2012 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 31 日)

- ・機関誌「地理空間」の刊行
第5巻1号 (2012. 6. 20 刊行予定), 第5巻2号 (2012. 12. 20 刊行予定)
- ・第6回大会の開催 2013 年 6 月 筑波大学筑波キャンパス (予定)
- ・例会の開催
- ・ニューズレターの発行